

第5回 郡中200年祭実行委員会の概要報告

1. 開催日時 平成28年10月6日(木) 18時50分～21時00分
2. 開催場所 伊予市生涯研修センター さざなみ館
3. 出欠状況
実行委員 出席人数30名、欠席人数10名
アドバイザー 出席人数1名、欠席人数0名
オブザーバー 出席人数3名、欠席人数1名
事務局 出席人数4名、欠席人数0名
4. 第5回 郡中200年祭実行委員会 次第
 1. 郡中200年祭実行委員会 委員長の交代について
 2. 開会のあいさつと委員長就任のあいさつ 郡中200年祭実行委員会 委員長 片岡直人
 3. 新規オブザーバー・委員の紹介
 4. 資料の説明
 5. 部会ごとのワークショップ
 6. ワークショップ結果の報告と意見交換
 7. 閉会

(以下 敬称略)

5. ワークショップの結果

A部会 子供たちが町の歩みを学び合う企画と実行

出席アドバイザー：前田眞

出席委員：吉田京子、山本恵(代松浦)、奥野勝也(代中岡)、今村しのぶ、日野桂子、見乗敏章、中村禎司、鶴岡正直、樋口瑞記

出席事務局：谷本照美

ワークショップの結果 発表者：前田眞

A部会 作業部会の今後の実施予定内容をもとに、作業日程等について話し合った。

○ 実施予定内容

1. 2017年の夜市での子ども達作成によるクイズラリーの実施
2. 子どもたちが学びあった内容の成果発表

(含、記念式典における子どもたちによる所信表明・意見交換)

* 1. 2については、小学校副教材「ふるさと」を参考に

3. 3月5日(日)愛護班が実施予定の「ウォークラリー」との連携?

○ 今後の作業行程

小・中・高生が集まる機会をつくる [拠点：来良夢]

土曜夜市でのクイズラリーの問題づくり



子供たちの興味によって、次のテーマが決まる(紙芝居あるいは他のもの)

- ① 小・中・高生に参加を呼び掛けるための企画書を作る →学校に人選の依頼 (10月中)
- ② ・小学生(郡中小 5年生) 8名・・愛媛新聞取材チーム[保護者了承済]
 ・中学生(港南中)
 10名の人選を学校に依頼・・11月を目途に一度集まる
 ・高校生(伊予農高) (主旨の説明、資料渡し)
- ③ 1回1時間程度、4回集まる(クイズと企画を作成)・・・5月完成
- ④ 4月2日開催の記念式典で、クイズラリーの企画・内容の経過報告及び感想を発表
- ⑤ 6月の土曜夜市でクイズラリーを実施・運営

*3月5日(日)愛護班が実施予定の「ウォークラリー」との連携については、
 A部会作業部会で、愛護班に「郡中二百年祭 ウォークラリー」として開催してもら
 えるよう協力依頼する。

B部会 まちづくりの歩みのシンボルゾーン「港と五色浜」に親しむ企画と実行

出席オブザーバー：小原明美

出席委員：門田眞一、坪内寛、向井幹雄、樋口行則、水口純子、日野鈴香、
 木曾信之、(徳本研三)

出席事務局：石田 照子

ワークショップの結果 発表者：小原明美

「港と五色浜に親しむ」についての作業部会案をもとにして

1. 海、港、五色浜境界の写真コンテスト

- ・広く募集
- ・夜市、祭などで展示
- ・審査員は武智さん、アドバイザーなど、地元の良さが分かる人
- ・賞品、賞金、賞状は、予算によって

2. 郡中まち歩き ～伊予港周回の小さな旅～

(1) 郡中二百年祭の記念イベントとしての企画

①歩くコースは、町家出発→五色浜の逆回り。

逆回りの特色はコース終盤に試食、商店街を歩くため買い物ができること。

(終わりになるほどお楽しみがある。)

★おたのしみイベント

- a.参加者にクイズ問題用紙を配布、町家帰着後正解者のうちから5名様に500円の商品券をプレゼント!
- b.ちょっとひとやすみタイム コース中盤で5分程度びわ葉茶と和菓子で休憩
- c.伊予港防波堤で5分間程度風景鑑賞等自由時間を設定
- d.食の店訪問・・・店主が店の特色を紹介し自慢の商品の試食
 候補店 にくの一色、篠崎ベーカリー、他
- e.郡中200年祭弁当・・・地元食材を使ったもの
- f.お買物・・・郡中駅前商店街、他

②遊漁船で体感する ～伊予港周回の小さな旅～

コース（案）

町家 9:30、事前説明 10 分間、9:40→栄養寺→宮内邸→来良夢→
伊予鉄道郡中駅→濱田屋・大西ハカリ店→伊予漁協で遊漁船に乗船 10:10 頃
→上灘沖→伊予内港で下船 10:50 頃→

五色浜をゆっくりすごします。伊予港防波堤で風景鑑賞

五色浜発 11:20 頃→法昌寺、山惣商店店内、町家帰着 11:30 頃

※天候が悪い場合は内港のみ

- ・開催回数 3月下旬から5月頃までの土曜日に5回程度開催
(うち2回程度は遊漁船体感)

・開催内容

1回の募集人数:30人(遊漁船は定員10名)

参加費1000円(保険・お弁当など)程度?

ツアー:1班10~15人で2・3班に分かれる。各班ガイド1人。

開催時間:9時30分~13時30分頃(昼食時間を含む)

9時30分~11時30分頃

(2) 個人又は小グループでの散策の場合

- ①設置可能な場所は少ないが「ちょっとひとやすみベンチ」の増設
- ②マップの作成と広報・配布
- ③案内板等の設置の検討
- ④「100円商店街」、「郡中ひなかざり」と一緒にPR

C部会 雇用や暮らしを支える産業を学び合い育てる企画と実行

出席委員:片岡直人、菊澤 康、藤村泰雄(代理:川口)、徳田和敏(代理)、加納祥一
大谷基文(代理:高橋)、桐嶋正彦(代理:小川)中尾 均(代理:西岡)、
徳本研三

出席事務局:重松佳子

ワークショップの報告

発表者:片岡直人

「食の企業見学とまち歩きツアー」(案)についての細部を確認する話し合いをした。

(1) コースの内容と時間について

A コース ヤマキめんつゆ工場見学+商店街の個店訪問+まち歩き

B コース マルトモ本社での削り節実演、だし試飲+商店街の個店訪問+まち歩き

C コース オカベ五色浜工場見学+商店街の個店訪問+まち歩き



- ・各企業の受入れは、見学申込みの手続きをふめばOK。
- ・個店については、1回につき2~3店。まち歩きのルートにいれこむ。
- ・工場見学約60分、個店訪問約30分、まち歩き約30分の時間配分は妥当。

(2) 実施時期と回数について

- ・平成29年3月~5月の期間に3回行う。日程については、他グループが実施するツアーと調整しながら、重ならないようにする。
- ・上記以外にも実施するかどうかについては、3回の応募状況と反応を見て決める。増やす場合は、9月以降の季節がよい。

(3) 参加者のターゲットについて

- ・子どもに食の大切さを伝えたいので参加してほしいが、見学先稼働の都合上、平日午前中の実施になるので、やはり中高年対象で考えた方がよい。

(4) 伊予鉄道との連携について

- ・伊予鉄道単体の企画が、場所、日程等の関係で実施しにくい。
- ・ツアーの中に組み込むには、一例として、まち歩きの最後に郡中駅～郡中港駅間の無料乗車などは可能だろうか？ぜひ次回の実行委員会までに、内部で検討してほしい。

(5) その他

- ・伊予漁協の協力を得て、遊漁船からまちを望む企画は検討の余地あり。
- ・ツアー以外で、伊予鉄道の子供向け企画が実施できないか、再度、内部で検討してもらおう。

以上、案として出されていた内容に、伊予鉄道の検討課題が確定したら組み入れてツアーを実施することについて、全員が賛成した。

D部会 お宝発見・再発見、その他の企画と実行

出席オブザーバー：稲田里香、山本 司

出席委員：若松一心、竹内英治、武智忠広、川口和代、亀岡泰三

出席事務局：安田絹代

ワークショップの結果 発表者：山本 司

「お宝発見・再発見、その他の企画と実行」作業部会 郡中ナイトウォーク(仮)企画案について話し合った。

週末の夜の時間を活用して郡中を起点にゆかりのある周辺地域を目指してウォーキング。近いのに遠い、知っているのに実は何も知らない地域を自らの足で歩いて体感。郡中との関わりについて考えるきっかけとします。

《目的》

200年前の人たちも歩いたであろう道を実際に歩き当時にタイムスリップ！自分の足で歩くことでしか得ることのできない、それぞれのまちの持つ雰囲気や佇まいを直接肌で感じながら、郡中との結びつきについて過去・現在・未来と思考していきます。春から秋にかけて6回のシリーズ開催にすることで参加者による新しいコミュニティを創造、参加者の健康づくりへも寄与します。

《実施概要》

- ◇主催 郡中200年祭実行委員会D班
- ◇後援・協賛 目的地でのおもてなし等に協力してもらえそうな個人や団体、地元企業等には積極的に協力依頼を行っていく。
- ◇開催日時 2017年4月～9月の土曜日の夜 毎月1回計6回開催
- ◇開催場所 出発は全て来良夢出発～目的地～郡中のいずれかの場所で解散
- ◇参加対象者
 - ・郡中の住民を中心に周辺地域に在住の成人
 - ・子ども(小・中学生)の参加は保護者同伴であれば可
- ◇定員 20～30名/毎回
※別途、スタッフが5～10名程度参加

◇参加費 コースやプログラムによって変動があるが 500～1,000 円程度を予定
※移動のための公共交通機関の運賃や目的地で利用する飲食代は参加者が個別に支払う形式とする。

◇スケジュール 2016 年 1 月 事前調査歩行
2016 年 10 月 ・コース設定
・プログラム設営
・スタッフ研修
・パンフレット作成
2017 年 1 月 参加者募集開始
2017 年 4 月 第 1 回ナイトウォーク開催
2017 年 9 月 第 6 回ナイトウォーク開催

以降の開催について参加者の意見も反映させながら集約郡中ナイトウォークの継続をめざす

◇その他

- ・雨天等の場合の開催ルールを明確にしておく。
- ・万が一の事故に備えて保険に加入する。
- ・全 6 回を全て歩いた人には最後に表彰、記念品を授与する。
記念品は郡中の特産品セット等
- ・最終回には懇親会を開催し 10 月以降の継続について意見交換を行う。
- ・ウォーキング中、また目的地に到着してプログラムを体験している時等にガイドをしてくれる人を設置する。
- ・参加者数によっては一人のガイドでは対応できない事も考えられるので、スタッフは事前に情報を得て、ガイドのフォローができるような準備を行う。
- ・全 6 回の内、1 回程度ウォーキングの専門家を招聘し、スタートの前に歩き方の講座を開講、希望者に参加してもらう

◇予算 現在、積算中

話し合いの結果、コースについて以下の案も出た

- ・夜市の時期の 6 月は、子供たちも参加できるように日曜日に実施してはどうか
- ・6 月は、ホテルまつりにあわせてはどうか
- ・二百年前の郡中の境界線を歩いてみてはどうか

以上、コースの内容とかも含め、4 月までにもっと煮詰めて安全で魅力的なものにしていきたい

◇コース案 現在、以下のようなコースを計画中

NO	開催日	コース名 (目的地)	所用時間	距離	参加費	(上段) 集合場所 (下段) 解散場所	備考
1	4月	谷上山 夜桜ウォーキング (谷上山)	3時間	5.2km	検討中	来良夢 来良夢	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山頂にて30分の夜桜見物、展望台にて郡中のまちを一望する ・ 「郡中かちゆ一湯」を準備して参加者に配布
2	5月	夕焼けウォーク (双海)			検討中	来良夢 JR 伊予市 駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復路は公共交通機関を利用 ・ 現地にて鯉カツバーガーと双海ハチミツレモネードを食べる ・ 日没を鑑賞できるよう出発時間を調整
3	6月	中山ホテルウォーク(中山町)	3時間	6.0km	検討中	JR 伊予市 駅 JR 伊予市 駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往復共に公共交通機関を利用 ・ ホテルガイドや虫の声を聞き分けることのできる専門家の参加を検討 ・ 現地にて食事ができないか検討
4	7月	温泉ウォーク (道後)	3時間	14.0km (往路のみ)	検討中	来良夢 JR 伊予市 駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復路は公共交通機関を利用 ・ 現地にて温泉(足湯)と食事がとれないか検討 ・ 温泉入浴と食事を実現するため早めのこの回は早めに出発する
5	8月	三津浜街道ウォーク(三津浜)	3時間	13.0km (往路のみ)	検討中	来良夢 JR 伊予市 駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復路は公共交通機関を利用 また、船で三津から郡中まで帰ることができないか検討 夜の海から見る帝人や東レの夜景 ・ 現地にて三津浜焼きを食べる
6	9月	大洲街道ウォーキング(大洲)	3時間	7.3km	検討中	JR 伊予市 駅 JR 伊予市 駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往復共に公共交通機関を利用 ・ 新谷駅より商店街ルートを通り大洲城へ ・ 中秋に合わせ臥龍山荘不老庵の竹天井に映る月を鑑賞する ・ 現地にて食事ができないか検討 ・ 復路は双海経由の列車で戻る

7. ワークショップのまとめ アドバイザー 愛媛大学社会連携推進機構 教授 前田 眞

今回の「郡中二百年祭」の目標は、活動に参加して郡中を好きになる。そこが目標でないといけない。

それでは、どうしたら郡中を好きになるかと言うと、自分たちの宝を知ること、再発見すること。あるいは個々の参加者が目標を持って臨んでそれが達成できたことかなと思う。歴史も含めて、今行われていることもだが、郡中の事をいろいろ分る・知る。それをどう伝えて行くのか、しっかり考えないといけない。運営上の問題でもあるがやる事はいろいろある。その中で、郡中の事をいかに感じてもらえるかを考え、詰めていけたら良いと思った。

これからかなり歩くイベントが多い。町を歩いた結果色々な事を感じるが、それを情報としてどう伝えるか、町の事を伝えながら歩けるかが大事になるので、しっかり勉強しながら進めていきたい。「郡中二百年祭」にむけて皆で協力しながらそういうことができれば良いと思う。

当日の様子を写真で紹介します



新規オブザーバー

えひめ地域政策研究センター

所長 山本 司氏

A 部会 ワークショップのようす



B 部会 ワークショップのようす



C 部会 ワークショップのようす



D 部会 ワークショップのようす

